

第38回全日本躰道選手権大会  
第26回全国少年少女躰道優勝大会

大会実施要項

本案で大会を実施する予定ですので、記載されている内容に沿った練習や予選大会実施の準備を進めて下さい。尚、「大会出場申込書の提出・出場費の納入・理事長推薦書の提出・選手変更の受付・弁当の予約」などの締切日を厳守の上、積極的に参加されますようお願い申し上げます。

大会会長

中島章皓

大会実行委員長

中村正弘

# 大会実施要項

主 催：日本躰道協会

後 援：文部科学省（予定）・東京都教育委員会

開催日時：平成 16 年 11 月 27 日（土）～28 日（日）

会 場：東京武道館

〒120-0005 東京都足立区綾瀬 3-20-1 Tel.03(5697)2111

J R 山手線「西日暮里駅」乗り換え、営団地下鉄千代田線「綾瀬駅」下車

選手集合：27 日（土）・・・午前 11:30

（役員集合 午前 7:45）

28 日（日）・・・午前 8:30

（役員集合 午前 8:15）

※時間変更の場合は別途ご連絡いたします

集合場所：東京武道館正面入口前

選手確認：27 日（土） 午後 12:00 分（競技コートにて）

※ 選手係りが点呼を取る時点で集合していない選手・チームは棄権とみなされ出場できませんので注意して下さい。

予選開始：27 日（土） 午後 13:00（予定）

## 1. 競技種目と出場枠

### 1) 「第38回全日本躰道選手権大会」

出場種目	出場枠	出場資格	注意事項
男子個人実戦競技 (一般の部)	2名	初段以上	プロテクター着用厳守
女子個人実戦競技 (一般の部)	2名	初段以上	面ピット・プロテクター着用厳守
男子個人法形競技 (一般の部)	2名	初段以上	1.2回戦 <b>転体</b> ・3回戦 <b>変体</b> 4回戦以降 <b>体</b> から自由選択
女子個人法形競技 (一般の部)	2名	初段以上	1.2回戦 <b>転陰</b> ・3回戦 <b>変陰</b> 4回戦以降 <b>陰</b> から自由選択
壮年法形競技	2名	初段以上 (40歳以上)	1.2回戦 <b>勢命</b> (表のみ) 3回戦以降 <b>活命・延命</b> から選択
男子団体実戦競技 (一般の部)	1チーム	初段以上	1チーム男子5名 プロテクター着用厳守
女子団体実戦競技 (一般の部)	1チーム	初段以上	1チーム女子5名 面ピット・プロテクター着用厳守
男子団体法形競技 (一般の部)	1チーム	原則として初段以上	1チーム男子5名 体・陰から自由選択
女子団体法形競技 (一般の部)	1チーム	原則として初段以上	1チーム女子5名 体・陰から自由選択
男子展開競技 (一般の部)	1チーム	原則として初段以上	1チーム男子6名 背番号制 <b>※今回は女性混合可</b>
女子展開競技 (一般の部)	1チーム	原則として初段以上	1チーム女子6名 背番号制

☆団体戦は全て男女別となります。ただし、男子展開競技のみ女性混合でも可とします。  
女子の部の混合は認めません。

☆個人種目における推薦出場枠について

前年度、個人種目ベスト3の選手は前項で決められている出場枠とは別に申し込むことが出来ます。

☆出場資格の注意事項

「原則として初段以上」 ⇒ 各県地区理事長の推薦がある場合は2級以上でも可とします。但し、出場申込時に所定の「理事長推薦書」を必ず提出して下さい。

☆展開競技・団体法形競技の決勝戦進出について

展開競技・団体法形競技の予選の結果、各々上位4チームが決勝戦進出となります。  
(予選のブロック分けはいたしません)

☆個人戦については、2005年に開催される世界大会への選手選考の重要な要素となります。

## 2) 「第 26 回全国少年少女躰道優勝大会」

出場種目	出場 枠	出場資格	注意事項
男子実戦競技 (中学)	2 名	上階 4 級以上	面ピット・プロテクター着用厳守
(小学高学年)	2 名	原則として中階 4 級以上	〃
女子実戦競技 (中学)	2 名	上階 4 級以上	〃
(小学高学年)	2 名	原則として中階 4 級以上	〃
男子法形競技 (中学)	2 名	上階以上	1.2 回戦 <b>旋体</b> 3 回戦以降 <b>体</b> から自由選択
(小学高学年)	2 名	中階以上	1.2 回戦 <b>旋体</b> ・3 回戦以降 <b>旋体</b> ・ <b>運体</b> ・ <b>変体</b> から自由選択
(小学低学年)	2 名	初階以上	〃
女子法形競技 (中学)	2 名	上階以上	1.2 回戦 <b>旋陰</b> 3 回戦以降 <b>陰</b> から自由選択
(小学高学年)	2 名	中階以上	1.2 回戦 <b>旋陰</b> ・3 回戦以降 <b>旋陰</b> ・ <b>運陰</b> ・ <b>変陰</b> から自由選択
(小学低学年)	2 名	初階以上	〃
団体実戦競技	2 チーム	原則として中階 4 級以上 (男子のみ)	1 チーム 5 名 (中学生 2 名・小学生 3 名)
団体法形競技	2 チーム	初階以上	1 チーム 5 名 体・陰から自由選択
展開競技	2 チーム	初階以上	1 チーム 6 名 背番号制

※少年団体実戦に出場の団体は**出場選手厳守事項⑩**をご覧ください。

### ☆推薦出場枠の特例

前述の推薦出場枠外でも各県地区理事長の推薦があり、またその理由が明確な場合は実行委員会で出場を認めることもあります。

### ☆出場資格の注意事項

- ①小学の部「高学年」「低学年」の区別 ⇒ 「高学年」は小学 4～6 年生  
「低学年」は小学 1～3 年生
- ②「原則として中階 4 級以上」 ⇒ 各県地区理事長の推薦がある場合は初階 (小学 3 年生以下) でも可とします。  
但し、出場申込時に所定の「理事長推薦書」を必ず提出して下さい。
- ③「団体実戦競技」小・中学の部の特別ルールについて  
競技監督の指示に従い、中学生は中学生と対戦、小学生は小学生と対戦する方式で行います。(順番は自由)

### ☆展開競技・団体法形競技の決勝戦進出について

展開競技・団体法形競技の予選の結果、各々上位 4 チームが決勝戦進出となります。  
(予選のブロック分けはいたしません)

## 2. 出場資格と制限

- ①出場資格：日本剣道協会に登録されている「一般会員」「正会員」「高校剣道部所属会員」「一般会員」及び「高校剣道部所属会員」は平成16年9月分（第2期）までの協会費が登録時より継続的に支払われていること、「正会員」は平成16年度までの正会員費が支払済みであることとします。
- ②出場制限：1人2種目迄とし、展開競技に出場する場合は3種目迄可。  
これに違反した場合は、その該当選手が出場した全種目を失格としますので注して下さい。尚、前年度個人種目ベスト3選手の内、推薦出場枠で出場する選手にもこの出場制限が適用されますので注意して下さい。

## 3. 出場申込

- ①「大会種目別出場申込書」に必要事項を記入の上、平成16年8月31日（火）迄に協会本部大会実行委員長宛に提出して下さい。
- ②理事長の推薦が必要な選手については、「理事長推薦書」に必要事項を記入の上「大会種目別出場申込書」に添付して、平成16年8月31日（火）迄に協会本部大会実行委員長宛に提出して下さい。  
(提出が無い場合は出場できませんので注意して下さい)

## 4. 大会出場費

①金額	全日本剣道選手権大会（一般）	7.000 円
	全国少年少女剣道優勝大会（小学・中学）	4.000 円

※推薦出場選手が推薦出場種目のみに出場する場合は2.000円とします。但し、推薦出場選手が他の種目にも出場する場合は上記①の金額となります。

- ②大会出場費は「大会種目別出場申込書」の申込内容に基づいて、各県地区で取りまとめの上平成16年10月15日（金）迄に下記の口座へ振り込んで下さい。

りそな銀行 虎ノ門支店  
普通 1 1 3 8 3 9 0  
全日本 中村正弘

## 5. 選手変更について

- ① 個人種目出場選手の変更は一切できません。

※ ただし、病気・怪我等により出場不可能となった場合には、大会 1 ヶ月前（10 月 26 日）までに限り、実行委員会の了解を得て変更を認めることがあります。

- ② 団体種目出場選手の変更は 11 月 27 日(土)午後 12 時 00 分の選手確認点呼までに「選手変更届」と出場費の差額金（出場費合計がマイナスとなる場合は返金しない）を選手係責任者に提出して下さい。

- ③ 上記以外の選手変更は認めませんので、怪我等などしないように注意して下さい。

例) 27 日の競技が始まってから欠場者が発生した場合、団体実戦は該当選手を不戦負として競技を続行できるが、団体法形・展開は失格となって競技に出場できません。

## 6. 出場選手厳守事項

- ① 出場選手は「躰道五条訓」を練習しておいて下さい。

- ② 出場選手は大会当日に必ず「健康保険証」（コピー可）を持参して下さい。「健康保険証」なしで治療を受ける場合、医療費の全額支払を求められ多額の出費をすることになりますので注意して下さい。

- ③ 選手は日本躰道協会公認の躰道着を着用して下さい。

- ④ 出場選手は全員、躰道着（背面）に県地区名を記入（例：「青森県」や「東京多摩地区」など）したゼッケンを付けて下さい。

大きさ：たて 7 c m ・ よこ 20 c m

布地：白地に黒文字（漢字）

注意 1) 実行委員会が提示した企画以外のものは認めません。

注意 2) ゼッケンを付けていない選手の出場は認めません。（両日共に）

注意 3) 団体競技のゼッケンの上位置に県地区名のゼッケンを付けて下さい。

- ⑤ 展開競技に出場する選手は躰道着の背面部に背番号（主役＝主・旋技＝1・運技＝2・変技＝3・捻技＝4・転技＝5）を取り付けて下さい。

## 主役は頭にハチマキを巻いて下さい。

- ※ ハチマキの色・デザインは自由、幅 5 c m程度、長さは結んで肩に付かない程度。
- ※ 背番号は審判員が確認できるように約 20 c m四方の白布に黒文字。

注意：躰道着の左右の袖上腕部に団体名・個人名を入れたり、一般的な常識の範囲内のマークを取り付けることは認められていますが、躰道着の背面部に所定の背番号以外のものを付いたり、故意に展開競技の背番号に団体名を入れたり、あるいは左胸上の「躰道」のマークを他の物に変えたり、袖口を短く切ったり捲くったりした場合は出場できません。

- ⑥実戦競技に出場する選手は、指定プロテクターを必ず躰道着の下に着用すること。着用しない場合は失格となります。(女子及び少年少女は面ピット着用のこと)尚、プロテクターは競技会場に入場する前に着用し、会場内での取り付けは一切しないこと。
- ⑦選手は「競技スケジュール」の開始予定時間 10 分前までに各競技コートへ集合することを原則とし、館内放送があった場合にはその指示に従って集合し、選手係りの点呼を受けること。
- ⑧複数種目に出場する選手で、団体と個人が重複する場合は団体を優先させ、団体種目で重複した場合は 1 番目に実戦、2 番目に法形、3 番目に展開の順で出場すること。但し、優先させない種目の選手係りにその旨を報告すると共に了解を取ること。
- ⑨競技開始前の点呼時に、競技コートにいない場合や重複出場の了解を取っていない場合は棄権と見なされて失格となるので注意して下さい。
- ⑩団体実戦競技(少年)に出場する選手は、試合の際、番号と一緒に実行委員会が用意した「小学生」(3名)「中学生」(2名)の札を審判員・選手に見えるよう提示して下さい。

## 7. 競技の判定

- ①躰道本院「公認審判員(研修生含む)」に審判を依頼し、「審判規定」に則って各競技の判定を行います。
- ②総合優勝の判定については、「第 38 回全日本躰道選手権大会」と「第 26 回全国少年少女躰道優勝大会」のそれぞれに総合優勝を設けます。
  - ※ 1) 得点の計算方法は、各種目の入賞得点を≪優勝=10点・2位=6点・3位=3点・4位=1点≫として計算し、各県地区単位で合計得点の高い順に決定します。

※ 2) 同得点の場合は《優勝→2位→3位→4位》の順で上位入賞者が多い団体を優先します。

※ 「第38回全日本躰道選手権大会」  
《総合優勝》……………総合優勝旗・賞状・  
文部科学大臣杯・自民党杯（予定）を贈呈します。  
《総合第2位》……………賞状を贈呈  
《総合第3位》……………賞状を贈呈

※ 「第26回全国少年少女躰道優勝大会」  
《総合優勝》……………総合優勝旗・賞状を贈呈  
《総合第2位》……………賞状を贈呈  
《総合第3位》……………賞状を贈呈

③特別賞の決定方法と内容については、大会会長・審判審議長・審判長・副審判長の協議によって選出決定します。

※ 「第38回全日本躰道選手権大会」  
《最優秀選手賞》……………賞状・楯を贈呈（1名）  
《優秀選手賞》……………賞状・楯を贈呈（2名）

※ 「第26回全国少年少女躰道優勝大会」  
《最優秀選手賞》……………賞状・楯を贈呈（1名）  
《優秀選手賞》……………賞状・楯を贈呈（2名）

## 8. その他

①昼食の手配……………昼食を希望する団体は平成16年10月15日（金）までに昼食代金（1食700円×注文数）を大会出場費納入指定口座に振り込み、別紙の「昼食申込書」を本部大会実行委員長宛に提出して下さい。

②宿泊の手配……………各団体で手配してください。

以上